

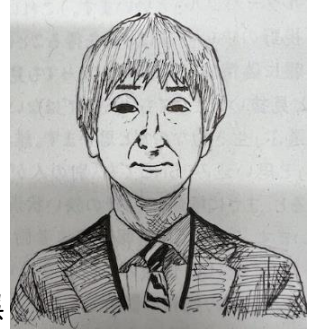
人権だより

No.329 (2025.11)

情報の真偽を確かめよう ―情報と人権―

研究情報図書課 谷脇 翔

わたしの生活において、スマートフォンは欠かせないものになっています。自分の「気になること」・「知りたいこと」があれば、スマホを使ってネット上に掲載や投稿されている膨大な情報の中から必要な文章や動画を探し出し、解決することができます。ところで、解決する過程であなたがスマホの画面で見た情報について、それが「正しい情報かどうか」を疑ったことはありますか。ネット上にある情報には「偽情報」や「誤情報」と呼ばれるものがあります。「偽情報」は意図的、意識的に作られた嘘、わざと作られた誤りの情報を指し、「誤情報」は勘違いや誤解、慌てて意味を取り違ってしまうなど、悪気はないけれど結果的に情報を誤って理解してそれが広まってしまった情報を指します。あなたがネットで手に入れた情報は、本当に正しい情報でしょうか。ひょっとすると、偽情報や誤情報かもしれません。



学習の場面などで何かを調べるとなれば、おそらく色々な情報源から情報を得て、取捨選択しながら解決に向けて進めていきますが、他者について知ろうとするとき、同じようにできているでしょうか。人間は自分の願望や過去の経験、思い込み、周りの環境からの影響を受けて、無意識のうちに全く合理的でない行動や誤った判断をしてしまうことがあります。(この現象を「確認バイアス」といいます。) また、あなたが見ているSNSは普段どのような投稿をクリックしているか、どんな投稿に「いいね」を押しているかという情報を分析して、あなたが「見たい」・「読みたい」と思う投稿を表示する機能によって調整されています。つまり、あなたの周りにはすでにあなたが「好む・欲しい」と思うものばかりになっています。(この現象を「フィルターバブル」といいます。) これによって「心地よいと感じる情報」に囲まれていると極端で視野の狭い内容ばかりを得ることになってしまいます。そうすると、あなたが見ているSNSの情報に偽情報や誤情報があっても見逃してしまうかもしれないし、仮に偽情報や誤情報であると見抜いたとしても、「そうではない」と考えてしまうかもしれません。人間は「信じたいものを選ぶ」生き物なのだと思います。誰かについて知るときに、自分自身が「あの人は〇〇だから」と思い込み、SNSでも「別の人が〇〇と書いてあるから」といって信じて疑わない状況になると、まさに極端で視野の狭い状況になり、他者からの指摘に耳を貸さないようになってしまいます。ここまでは情報の受信者側から話をしましたが、発信者側で考えてみる

と、あなたが発信(拡散)した情報の中に偽情報や誤情報がある可能性も否定できません。そうすると、他の誰かがその情報の影響を受ける可能性も出てくるかもしれません。手軽に情報を受け取り、発信できる時代だからこそ、1つ1つの情報に対してよく吟味し、責任をもって発信することで自分のことも相手のことも守れるようにしていきましょう。

【保護者の声】 文章を読んだPTA 人権委員の方の感想です。

デジタル化が進み、世の中に様々な情報があふれています。ほとんどの子どもたちは自分のスマートフォンを持ち、自らが他者とつながったり、必要な情報を手に入れたりしています。インターネットや SNS は外から見えにくいものなので、子ども自身が情報の真偽を見極める力や正しい判断力を身に付けてほしいです。そして、私たち大人も、変化する社会における子どもたちの様子をしっかりと把握し、考え方をブラッシュアップしながら関わっていくべきだと思っています。(4年生保護者)

【人権委員の声】

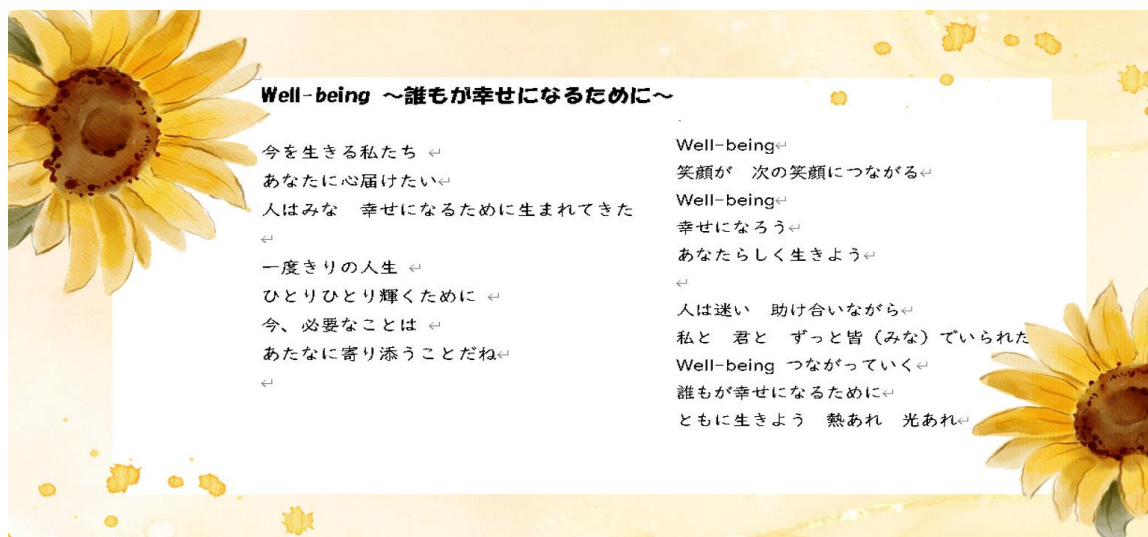
知りたい情報を検索する時にスマートフォンはとても便利ですが、調べる過程が簡潔だという理由だけでスマートフォンを手取るのではなく、色々な本を読んだり、資料を探したりして情報の正確さについても考えながら知識を得たいと思いました。(3年生 人権委員)

私はネットではなく、よくテレビを見ますが、メディアにだまされないようにするために物事を多角的に見ることができようになりたいと思いました。(4年生 人権委員)

他人についての情報を鵜呑みにすると、誤ったイメージを持ってその人の人権を傷つけることにつながるので、情報を見極める力と発信に責任を持つことがとても大切だと感じた。今後は情報をそのまま信じないようにし、思いやりをもって使いたい。(5年生 人権委員)

人権教育相談課より

本日の人権集会で皆で歌います。作詞は6年4組の皆さん、作曲は6年4組浅野龍生さんです。1つ1つの歌詞に込められた思いを大切に、心を込めて歌いましょう。



Well-being ～誰もが幸せになるために～

今を生きる私たち
あなたに心届けたい
人はみな 幸せになるために生まれてきた
一度きりの人生
ひとりひとり輝くために
今、必要なことは
あたなに寄り添うことだね

Well-being
笑顔が 次の笑顔につながる
Well-being
幸せになろう
あなたらしく生きよう
人は迷い 助け合いながら
私と 君と ずっと皆(みな)でいられた
Well-being つながっていく
誰もが幸せになるために
ともに生きよう 熱あれ 光あれ